

整理番号F-9834A O Z H E A T 2 時間用 ・ 4 時間用 ・ 6 時間用
株式会社ニイタカ

作成日： 2016年04月25日
改訂日： 2016年04月25日

安全データシート(製品安全データシート)

【 1. 化学物質等及び会社情報】

製品名	O Z H E A T 2 時間用 ・ 4 時間用 ・ 6 時間用
会社名	株式会社ニイタカ
住所	〒532-8560 大阪市淀川区新高1-8-10
電話番号	06-6395-2717
FAX番号	06-6395-2536
担当部門	技術部
緊急連絡電話番号	06-6395-2410

【 2. 危険有害性の要約】

GHS分類

物理化学的危険性	分類できない
健康に対する有害性	
急性毒性（経口）	区分外
急性毒性（経皮）	区分外
急性毒性（吸入：気体）	分類対象外
急性毒性（吸入：蒸気）	分類できない
急性毒性（吸入：粉塵およびミスト）	分類できない
皮膚腐食性／刺激性	区分外
眼に対する重篤な損傷／眼刺激性	区分外
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	区分外
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	区分2
特定標的臓器毒性（単回暴露）	分類できない
特定標的臓器毒性（反復暴露）	区分1（腎臓、肝臓）
吸引性呼吸器有害性	分類できない
環境に対する有害性	
水生環境有害性（急性）	区分外
水生環境有害性（慢性）	区分外
オゾン層への有害性	分類できない

GHSラベル要素

絵表示またはシンボル：



注意喚起語：

危険

危険有害性情報：

生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い、

注意書き	長期にわたる又は反復ばく露による臓器の障害
[予防策] :	保護手袋／保護眼鏡を着用すること。 蒸気を吸入しないこと。 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。 すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。 取扱い後は手をよく洗うこと。
[対応] :	暴露または暴露の懸念がある場合 : 医師の診断／手当を受けること。
[保管] :	密閉して保管すること。
[廃棄] :	内容物／容器を関連法規制ならびに地方自治体の基準に従い廃棄すること。

【3. 組成、成分情報】

単一製品、混合物の区別	単一製品
成分	ジエチレングリコール

【4. 応急措置】

吸入した場合	直ちに新鮮な空気のある場所に移動し、うがいをする。 異常のある場合は医師の手当を受ける。
皮膚に付着した場合	水で十分に洗い流す。
目に入った場合	直ちに流水で15分以上洗い流す。コンタクトレンズは外す。 速やかに医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合	直ちに口をすすがせて多量の水を飲ませる。 意識のない場合には、口から何も与えない。 無理に吐かせないで、速やかに医師の診断を受ける。

【5. 火災時の措置】

消火剤	水噴霧、粉末消火薬剤、泡消火薬剤、二酸化炭素、砂
使ってはならない消火剤	棒状注水
特有の消火方法	(周辺火災の場合) 消火作業は、風上から行う。周囲の設備等に散水して冷却する。 (着火した場合) 速やかに容器を安全な場所に移し、適切な消火剤を使用して消火する。移動不可能な場合には、容器および周辺に対して適切な消火剤で消火する。

【6. 漏出時の措置】

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	作業の際には、必ず保護具(ゴム手袋、保護眼鏡、保護衣、ゴム長靴等)を着用する。 屋内の場合、作業が終わるまで十分に換気を行う。
-----------------------	---

環境に対する注意事項	多量の場合、人を安全に退避させる。 流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を 起こさないように注意する。 大量の水で希釈する場合は、汚染された排水が適切に 処理されずに環境へ流出しないように注意する。
封じ込め及び浄化の方法・機材	少量の場合は、吸着剤（おがくず・土・砂・ウエス等）で 吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾等によく拭き取る。 多量の場合は、周囲への流出を防止し、安全な場所に導いてから 処理する。

【7. 取扱い及び保管上の注意】

取扱い	
技術的対策	取扱場所の近くに、緊急時に洗眼及び身体洗浄を行うための 設備を設置する。 作業時は保護眼鏡および保護マスクを着用する。 燃焼中および燃焼後しばらくは缶自体が熱くなっているので、 絶対に素手で触れない。火傷のおそれがある。 火消には必ず金属製キャップを使用する。その際は火傷に注意する。 途中で火を消した時は、金属製のキャップでしっかりと密閉する。 そのため、金属製キャップは燃料を使い切るまで捨てずに保管しておく。 お湯をためないタイプのチェーフィングディッシュには使用しない。 芯の先端がディッシュ底の直接当たらないよう、 芯とディッシュ底の間隔をあけて使用する。 1つのチェーフィングディッシュで2コ以上の燃料を使用する場合は、 缶と缶の間を10 cm以上あける。 燃焼中は換気をよくする。 なし 取扱い後は手・顔等を十分に洗い、うがいをする。
局所排気・全体換気	
注意事項	
安全取扱い注意事項	
保管	
適切な保管条件	容器を密閉して保管すること。 他のものと混同しないように保管する。 熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること。 他の容器に移し替えて使用しない。
安全な容器包装材料	

【8. 暴露防止及び保護措置】

保護具：	
呼吸器の保護具	必要に応じてマスクなどを着用
手の保護具	ゴム手袋
目の保護具	保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具	保護衣

【9. 物理的及び化学的性質】

外観	無色透明液体
臭い	無臭
p H	知見なし
融点・凝固点	-8℃
沸点、初留点と沸騰範囲	245℃
引火点	152℃（開放式）
自然発火温度	知見なし
燃焼又は爆発範囲の上限／下限	知見なし
蒸気圧	知見なし
蒸気密度	知見なし
比重（相対密度）	1.12 g／cm ³ （20℃）
溶解性	水に溶解
オクタノール／水分配係数	知見なし
分解温度	知見なし

【10. 安定性及び反応性】

安定性	通常の実扱い条件においては、光、熱、衝撃に対して安定である。
危険有害反応可能性	なし
避けるべき条件	なし
混触危険物質	なし
危険有害な分解生成物	知見なし

【11. 有害性情報】

（ジエチレングリコール）（NITE（独）製品評価技術基盤機構，GHS分類結果（平成20年度））

生殖毒性	マウスを用い交配前からのばく露による2世代生殖試験において、同腹児数の減少に加え、脳ヘルニア、口蓋裂の頭蓋顔面奇形が観察された（DFGOT vol.10（1998））。 口蓋裂はハムスターの妊娠8日目の腹腔内投与でも報告されている（DFGOT vol.10（1998））。 これらの影響が現れた用量では同時に母動物の体重減少、ハムスターでは死亡が見られ（DFGOT vol.10（1998））、即ち、親動物での一般毒性が発現する用量で明確な生殖毒性が記述されている。
特定標的臓器毒性（反復暴露）	ラットの反復経口ばく露による特徴的な所見として、尿酸の排泄増加とともに尿中に尿酸カルシウム結晶が形成され、腎障害（ネフローゼ）が見られたと報告されている（DFGOT vol.10（1998））。ばく露が長期に及ぶと膀胱結石も観察され、また、腎臓に比べ軽度ながら肝障害の記述も一部にある（PATY（5th, 2001））。しかし、これらの影響はいずれもガイドランス値範囲のカットオフ値（100 mg/kg/day）を超えたかなり高用量における所見である。 一方、ヒトでは本物質のばく露に関して複数の疫学調査が実施され、

それらの結果によれば、多数の死亡例、進行性の腎障害と最終的に腎不全、一部の報告では肝障害が報告されている（DFGOT vol.10（1998））。

【12. 環境影響情報】

(ジエチレングリコール) (NITE (独) 製品評価技術基盤機構, GHS分類結果 (平成20年度))

水生環境有害性（急性）
魚類（ファットヘッドミノー）の96時間LC50＝75200 mg/L
（AQUIRE, 2008）

【13. 廃棄上の注意】

【7. 取扱い及び保管上の注意】を参照する。

内容物を関連法規制ならびに地方自治体の基準に従い廃棄する。

使い終わった容器は、よく洗ってから処理する。

【14. 輸送上の注意】

国内規制	適用法令の定めるところに従う。
輸送の特定の安全対策及び条件	直射日光を避け、高温のところに置かない。 運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、 損傷がないよう積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

【15. 適用法令】

労働安全衛生法第 57 条の第 1 項の政令で定めるもの	該当しない
特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律で定めるもの	該当しない
毒物及び劇物取締法	該当しない
廃棄物の処理及び清掃に関する法律（特別管理産業廃棄物）	該当しない
化審法	該当しない
消防法	危険物 第 4 類第 3 石油類 危険等級Ⅲ（水溶性）

【16. その他】

参考文献	NITE（独）製品評価技術基盤機構，GHS分類結果
記載内容の問い合わせ先	
会社名	株式会社ニイタ力
住所	〒532-8560 大阪市淀川区新高1-8-10
担当部門	技術部
電話番号	06-6395-2410
FAX番号	06-6399-2053

記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、危険性、有害性の評価は必ずしも十分ではありませんので、取扱いには十分注意してください。
 また、記載事項は通常の実用を目的としたものであるため、特別な取扱いをする場合には新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取り扱い願います。
 なお、この情報は新しい知見に基づき予告なしに改訂されることがあります。